

支援は御“縁”から“始”まります。私たち4人の支援専門員が“縁”あって支援をさせていただくことから「支援→始縁だより」と名づけました。

始縁だより

～地域包括ケアシステムって何だ？～

発行 平成26年8月号

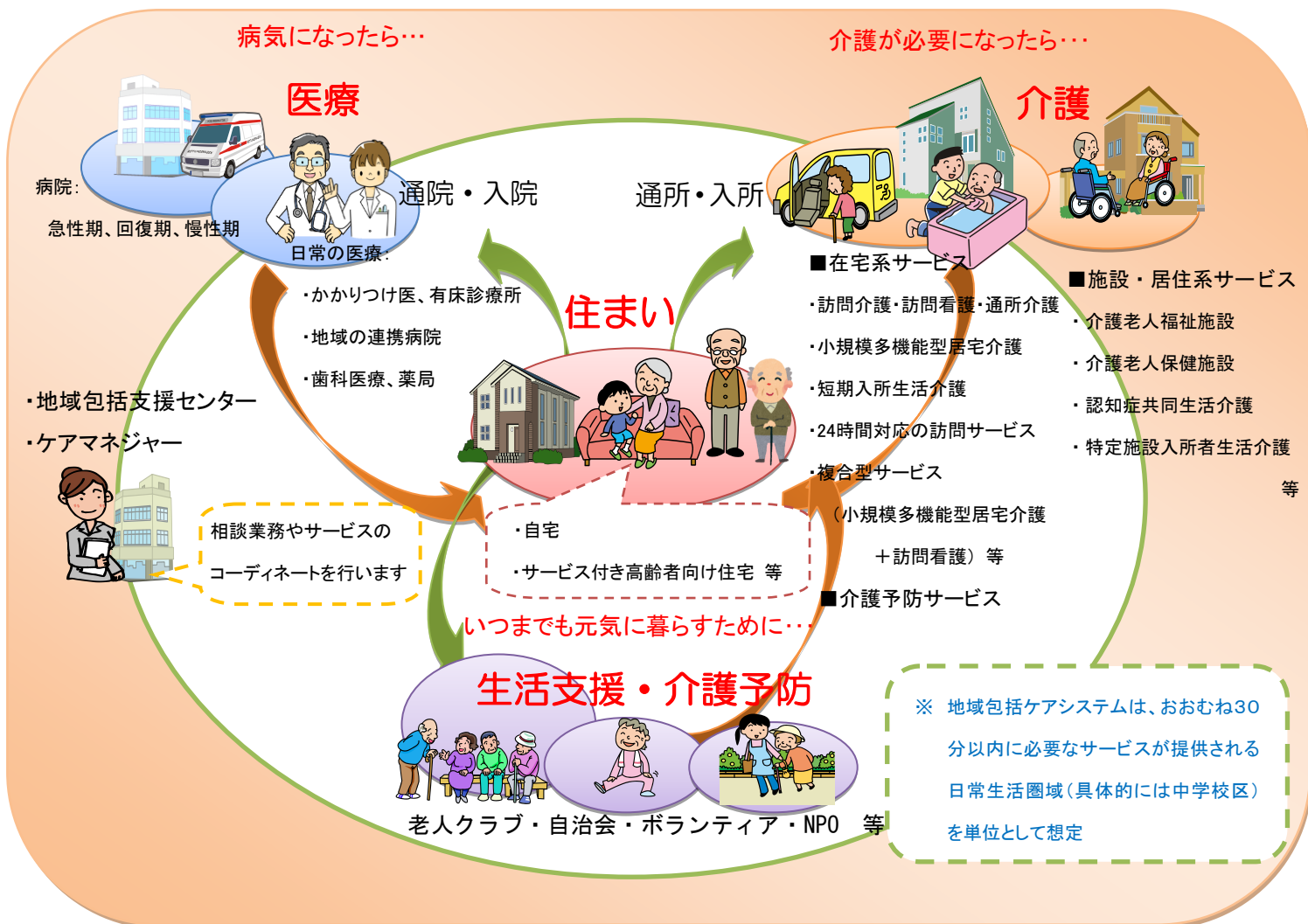
団塊の世代が75歳以上となる2025年（H37年）には、日本の高齢化率は30.3%になる見込みです。この2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築への取り組みが進められています。

地域ケアシステムは、介護保険の保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく事が必要とされています。

現在、この地域は約3人に1人が65歳以上です。限界集落もある田舎の地域では、どうしたら良いのか…？を考えるために、厚生労働省老健局振興課長に佐川町の桜座に来て頂き、医療、行政、介護関係者 約120名で受講しました。

【地域包括ケアシステムの姿】

厚生労働省資料より



医療法人 社団若鮎 支援センターかがやき 作成者=織田 ひとみ 発行責任者=西森 柳子

URL <http://www.kitajima-hp.com> Tel: 0889-26-1045 Fax: 0889-26-1071